



Kumasan

令和元年12月18日
学校だより 冬休み号
熊野第三小学校
校長 平岡 弘資
HP <http://kuma0316.ec-net.jp>

☆ 新たな年も「思いやりの実現」をめざしましょう！

今年も残りわずかになりました。元号が令和に変わった年、熊野第三小学校創立 50 周年記念の年。令和元年も終わろうとしています。そんな記念となる年、熊野第三小では「思いやりの実現」を最重点目標に取組を進めてきました。道徳科の授業の充実や保護者からもコメントをいただいた「おもいやりプログラム」の取組、「ありがとうの木」の取組、縦割班による活動の充実などを通して子供たちの思いやりが校内だけでなく地域や家庭にも広がっていると確信しています。来年も子供たちの「思いやり」がさらに膨らみ、花咲山のように熊野第三小学校、そして学校を取り巻く地域全てが優しさ、思いやりの花でいっぱいになることを願っています。引き続きご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、先日朝会で2回目の全校道徳を行いました。「しんせつなともだち」という絵本の読み聞かせをして、子供たちに考えや思いを聞きました。簡単にあらすじを紹介します。「雪がたくさん積もり辺りは真っ白。こうさぎは食べ物が見つからなくなったので探しに出かけ、かぶを2つ見つけました。一つ食べましたが、もう一つはろばさんが困っているだろうとろばさんの家を持っていきますが、留守だったので置いて帰ります。ろばは食べ物を探しに出かけていてさつまいもを見つけました。家に帰ってみるとかぶがあります。さつまいもを食べた後、やぎさんが食べ物なくて困っているだろうとのかぶを持って行ってあげます。同じようにこやぎも、その次のごじかも食べ物を見つけて家に帰ってきてそれを食べた後、困っているだろうとのかぶを持って行ってあげます。結局かぶはこうさぎの家に戻ってきました。それを見つけてこうさぎは、友だちがわざわざ持ってきてくれたんだと思います。」というお話です。



「どうしてかぶはこうさぎに戻ってきたのかな？」と子供たちに聞くと「みんな他の動物を心配しているから。」「きっとお腹がすいているだろうと考えたから。」「優しい思いやりがあるから。」と答えてくれました。「動物たちって自分はお腹がすいているの？」子供たち「自分は見つけたものを食べているよ。」「じゃどんな気持ちで持って行ってあげたのかな？本当の思いやりって何かね？学級で考えてみて。」を投げかけて終わりました。この後子供たちは学級で振り返りをしました。子供たちの感想をいくつか紹介します。

「もし欲張ったら友だちが困るかもしれない。」「思いやりは人を気づかってあげること。」「私が思う本当の思いやりは『自分が』じゃなくて、いつも相手のことを考えてそれを行動にうつし、喜んでもらって初めて思いやりというんじゃないかと思いました。」「本当の思いやりは相手の顔が見えなくても常に相手はどう思っているかを考えることだと思います。思いやりは『頭』で考え、『心』で思って『体』で自主的に行動する。これが本当の思いやりだと思います。」

子供たちは確実に「思いやりの実現」に近づいています。

☆ サッカーボールをいただきました



1月18日に学校生協さんからサッカーボールを寄贈していただきました。サッカーボールは児童を代表して運動委員会の永谷君と楠君が校長室で受け取りました。そして、12月3日の儀式朝会で、サッカーボールをいただいたことを全校のみんなに報告し、「大事に使いましょう。」と呼びかけました。

3学期になると、体育の授業や熊野カップサッカー大会、安芸郡サッカー大会にむけた練習などでサッカーをする機会が増えてきます。新しいボールは人気があります。熊三小の思いやりの気持ちを大切に、大事に使いたいと思います。ありがとうございました。

☆ 縄跳びで体力づくり!

12月10日(火)にすこやか朝会がありました。今月のすこやか朝会では長縄跳びを行いました。学級ごとに跳び方を決めて、声を掛け合いながら挑戦しました。担任の先生と子供たちが一緒に長縄に取り組む様子はとてもほほえましかったです。

寒さも次第に厳しくなり、いよいよ冬本番です。もうすぐ冬休みもやってきます。取り組みやすい運動を生活に取り入れて、風邪などを引かない体力を付けていきたいですね。



☆ 授業研究がありました

12月10日(火)に本年度最後となる道徳授業の校内研修会がありました。授業は1年2組の「ほくのはな さいたけど」でした。主人公の子ぐまのトトがお母さんの誕生日プレゼントとして育てていた花をめぐるお話です。

4月から熊野第三小学校で学習を始めた1年生ですが、今では「思いやりってどんなこと?」という問いに対して自分の言葉でしっかりと答えられる子供たちに成長しています。授業では、登場人物の心情に迫るための役割演技にも真剣に取り組むことができました。友だちの発言や役割演技をキラキラした表情で見つめる子供たちの姿が教室の雰囲気をも温かなものにしていました。



子供たちと先生のやりとりの中に本校の道徳教育の良さを感じることができる研修会となりました。本校の道徳は3学期も続きます。子供たちのよりよい成長のために、これからも道徳科の授業づくりに力を入れていきたいと思っています。